



ぶどうぐみだより

社会福祉法人 まほろば 渕こども園

令和8年度 1月22日



寒い日が続いているが、毎日元気に過ごしている子どもたち。お外遊びの中で「息をはあ～つたら白くなつたで！」「マラソンしたら体がぽかぽかになった！」などの冬ならではの発見を友達や保育者と伝えあい楽しんでいます。

そんな寒い中でも、11月に一人ひとりが大切に植えたチューリップの芽が出てきました。「〇〇くんのチューリップの芽出てきたで！」と気づいたことを教えてあげたり、まだ出ていない友達にも「早く出てきたらいいな」と声をかけてあげたりと、春になってチューリップが咲くのをみんなで楽しみにしながら生長を見守っています。

こども園で過ごすのもあと少しとなりました。この一年で経験してきたことを活かして、友達と協力することの大切さを感じたり、友達を思いやる気持ちがさらに育ってくれたらと思います。



『おにいさん・おねえさんになってきたね』



お正月遊びを通して年下のお友達と関わる機会がありました。子どもたちにぶどうぐみのみんながお店屋さんになること、お客様でめろんぐみ・ばななぐみのお友達が来るなどを伝えると、嬉しさや楽しみの中に少しドキドキの気持ちもあったそうです。遊び方がわからないときはどうする？と聞いてみると「優しく教えてあげる！」とすぐに答えてくれました。当日は、話をするときに目線を合わせて話してあげたり、次はどこに行ったらいいかを考えてあげたりする姿を見て成長を感じることができ嬉しかったです。きっと今まで自分たちが年上のお友達にもらつた経験があったからこそできたのだと思います。終わった後は子どもたちも「楽しかったー！」と大満足な様子でした♪

もうすぐ小学生♪

年が明けてから子どもたちは今まで以上に小学生になることを楽しみにしています。一人ひとりがお正月に向けて書いた書初めにも『友達100人作る』『勉強を頑張る』などの小学校に関連する目標もたくさん見られました。

クラスでも小学校に向けて取り組めることを少しずつ無理なく行っています。今は時間を意識して行動することを大切にし、給食を30分程で食べ終わるよう取り組んでいます。

他にもこども園に持っていくものを自分で準備することも意識づいていたらと思っています。

今は小学生になることを楽しみにしている子どもがほとんどだと思いますが、就学が近づいてくるにつれて不安も出てくると思います。何かご家庭で変化がありましたら一緒に考えていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。